

オンライン進学相談実施中

Online Consultation

進学希望者を対象に、個別のオンライン進学相談を実施しています。
随時お問い合わせ・ご相談を受け付けていますので、お気軽にご連絡ください。

愛媛大学 アドバンストソーシャルマネジメント学環 事務局

〒790-8577 愛媛県松山市道後樋又10番13号

TEL : 089-927-8992

E-mail : asm@stu.ehime-u.ac.jp

<https://www.asm.ehime-u.ac.jp/>



受験情報サイト

入学者選抜について詳細な情報は下記受験情報サイトをご参照ください。

<https://juken.ehime-u.ac.jp/>



あなたの現場が、
社会を変える知になる。



愛媛大学大学院

アドバンストソーシャルマネジメント学環

博士課程

ASM

Advanced Social Management

令和9年4月開設



学位 博士(学術) 分野 工学・理学・農学・保健衛生学関係 入学定員 5人

養成する人材像 産業界等の現場と学術をつなぎ、プロジェクトの“プロセス知”で社会を動かす変革リーダー

GUIDE

社会人を含む多様な入学者を想定



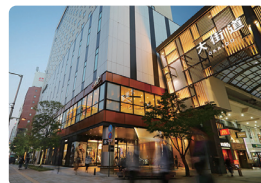
地域や社会の課題解決に
本気で取り組みたい方



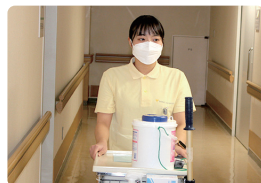
実務の経験を
学術的な知に高めたい方



プロジェクトを成功させる
知識・スキルを身に着けたい方



社会にインパクトを生む
リーダーを目指す方



企業・自治体・医療・福祉・農業
など多様な分野の実務家

FIELD

あらゆる分野の現場の挑戦が、研究テーマに

既設の理工学研究科、連合農学研究科、医学系研究科の3研究科の協力により、学際的な指導体制を構築することで、複雑化・複合化する社会課題に対し、複数分野の専門知識を組み合わせ、研究やプロジェクトの幅を広げます。



ASM MODEL

アドバンストソーシャルマネジメントとは

プロジェクトマネジメントを手法として、産業界等の現場における知見(実践知)と各専門分野の理論や方法(学術知)を結びつけるプロジェクトを実装し、社会課題に対する理論的な解決方法を再活用可能な形で設計・共有することをいいます。

実践知

個別の“現場の条件”のもとでの経験の蓄積から形成される、主に暗黙的・属人的な問題解決の知識。

経験
問題解決の知識

学術知

体系化された理論・方法論・研究成果にもとづき、特定の現場条件に左右されずに適用可能な、明示的で検証可能性の高い知識。

課題設定

各受入機関における
プロジェクト
の実践

プロジェクト
マネジメント
協働・実装

理論化・発信

プロセス知

実践と学術の往還を通じ、

変革プロセスの
成立要因を可視化し、

他の状況にも
適用可能な形で
理論化した知識。

社会課題を『プロジェクト』で解く 実践と理論をつなぐ、新しい博士課程

愛媛県を含む四国地域は、日本の中でも人口減少や少子高齢化が先行している地域であり、デジタルやモビリティの格差、付加価値を高められないことによる県民所得の停滞、企業誘致や他業種との連携の遅れ、公共インフラ維持の難しさ、医療・福祉資源の地域偏在、さらには南海トラフ地震などの大規模災害リスクなど、多くの構造的課題が重層的に絡み合う、いわば「課題の集積地」と言えます。これらの課題は、単一の専門分野だけでは十分に対応することが難しく、多様な知見を組み合わせた対応が求められています。

こうした背景の下、地方ではあらゆる産業分野で担い手不足が深刻化しており、企業や自治体は個別の取組の中で実務的なノウハウの蓄積にとどまる傾向がみられるなか、複数の主体を横断的にまとめ、地域に根差した事業全体を推進できる人材への期待が高まっています。一方、データや分析結果を示すだけでは、複雑な地域課題に対して関係者の主体的な協力を引き出すことに難しさを感じているケースも見られます。

以上の状況を踏まえると、今求められているのは、実践と学術のいずれか一方だけに偏るのではなく、両者を往還しながら解決策を構想し、それを社会に実装できる人材です。さらに、その成果やプロセスを他地域にも展開できる形で発信できる力も必要とされています。

本学環では、このような力を備え、地域の未来を切り拓く「変革リーダー」の育成を目指します。

JOURNEY

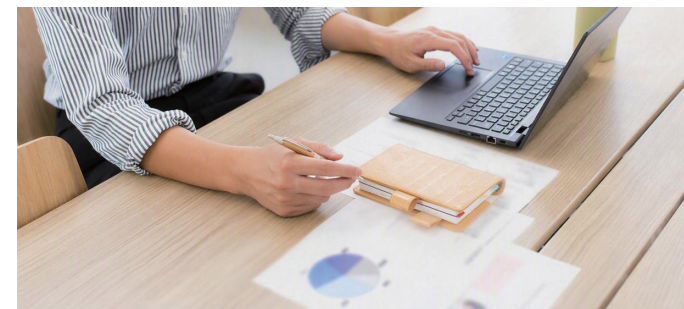
修了までのスケジュール



PROJECT THESIS

プロジェクト論文とは

実践プロジェクトを通じて、変革が生まれるプロセスの仕組みと条件を学術的に解明する研究です。



PROJECT SUPPORT

プロジェクト支援チーム

主指導教員 1名

先行研究の整理を助言し、
学術的妥当性を確保する。

副指導教員 1名

主指導とは異なる分野の専門性を活かし、
研究やプロジェクトの幅を広げる。

Project Management
Professional (PMP)®有資格者

コーディネーター 1名以上

テーマ設定から終結までプロジェクト
を円滑に進めるための総合的な伴走
支援を行う。

伴走支援

- ・進学前サポート
- ・月1回の定期レビュー
- ・中間報告会の開催
- ・プロセス知の抽出支援

PMBOK®の修得 × PMP®有資格者による伴走支援

世界で広く活用される知識体系
PMBOK®に基づき
プロジェクトマネジメントを学ぶ



- ✓ プロジェクトの実践を通じた指導の実施
- ✓ 実務で活かせるプロジェクトマネジメント力を養成
- ✓ 国際資格PMP®の取得もサポート

